



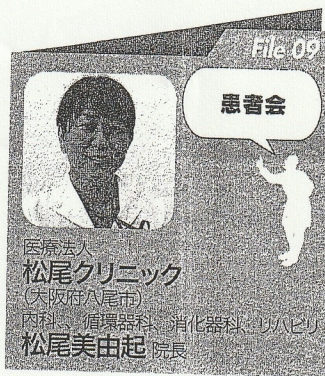
## 地域・患者交流

診療所は地域密着型のサービス業とも言える。患者会の結成や各種イベントの開催などにより住民とのより良い信頼関係を構築し、地域における認知度を高めよう。

### 高齢者の生きがいを支援する さまざまな教室を開催

体で年会費はない。個々のアクティビティーに興味のある患者の自由参加で、行事ごとに実費のみを徴収して運営している。

ビティーに取り組むことで、気持ちやポジティブになり、元気に過ごしてもらうことを目的に始めました。『小規模診療所が患者会を運営するのは大変だね』と言われる方もいますが、全然大変じゃない。企画は患者さんから自然発生的に出てくるので、私たちは場を提供するだけです。(松尾美由起院長)



開院当初から診療所と患者でつくる交流の場として、『松樹会』という患者会を組織している松尾クリニック。「病気や治療に関する勉強会(年4回)を開催するほか、「七宝焼き教室」「書道教室」「手芸」「コーラス」「ボウリング教室」「生け花教室」など、精神的な交流と手先の訓練のために、定期的にさまざまな教室を開催している。

現在、松樹会の会員は約250人。まったくの任意団

各教室の講師の大半は個々に得意分野を持つ年配の患者が、ボランティアで務める。特殊な技能を活かせる場ができることで、高齢者の生きがいづくりにもつながっていく。松樹会の会長と副会長は患者代表として選ばれた人たちで、アクティビティーや行事の企画にも患者側が主体的に参加する。

「もともと発想は患者さんがアクティ



勉強会のほか、書道教室などさまざまな活動を行う患者会のみなさん